

■□=====

□

株式会社 京浜予防医学研究所

■□ KMLメールニュース □■ ◆◆ VOL. 50 ◆◆

=====□■

株式会社 京浜予防医学研究所 よりお知らせ致します！

2013年 7月 27日発行

□■ http://www.kml-net.co.jp/

KMLメールニュースVOL.50をお送り致します。
お忙しい事とは存じますが御一読いただきまして、先生方の
一助として頂ければ幸いです。

☆☆ トピックス ☆☆

- 【1】 屋内アレルゲンのセルフケアについて
- 【2】 学術研究発表：GBS選択分離培地の検討
- 【3】 自己免疫疾患について
- 【4】 KMLインフォメーション 5月～7月分のお知らせ

「1」 屋内アレルゲンのセルフケアについて

住宅の気密化、ペットの家族化などにより、塵ダニに加えペット、虫、カビ等の屋内アレルゲンは増加傾向にあります。屋内のいたる所になんらかのアレルゲンが潜んでいます。共通している対策が屋内の掃除です。今回はセルフケアについてご紹介します。

○リビング

- ・床は1平方メートルあたり20秒以上ゆっくりと掃除する
- ・カーペット類は避ける
- ・ソファやオモチャ類は布製を避ける
- ・空気清浄機を設置する
- ・エアコンのフィルターは定期的に掃除する
- ・冊子の結露はふき取る

○寝室

- ・寝具のカバーは定期的に洗濯もしくは、防ダニカバーなどを活用する
- ・寝具は干した後、掃除機掛けをする
- ・クローゼット、衣類の収納場所には防虫剤を使用する
- ・衣替え時は、洗濯してから収納・着用する
- ・ペットは定期的にシャンプーし、寝室に入れないようにする

○台所

- ・米びつは、虫よけ剤を使用する
- ・食品の保存には密閉性の高い保存容器を使用する
- ・捕獲器、毒餌剤などを電気機器の裏や隙間などに設置する
- ・蛍光灯カバーなども定期的に掃除する
- ・換気を徹底し、湿気を避ける工夫をする

○主なアレルゲンの生息場所

空中 : イヌ・ネコ・アルテルナリア・アスペルギルス

畳・絨毯 : イヌ・ネコ・アスペルギルス・ダニ

寝具・ソファ : イヌ・ネコ・ガ(イガ)・ダニ

壁 : イヌ・ネコ・アルテルナリア

台所 : ガ(メイガ)・ゴキブリ・アルテルナリア・ダニ

クローゼット・押入れ : イヌ・ネコ・ガ(イガ、コイガ)
アスペルギルス・ダニ

洗面所・浴室 : ゴキブリ・アルテルナリア・ダニ

※室内でペットを飼っている家庭では、ペットが出入りする場所全てにペットのアレルゲンが分布します。

【屋内アレルゲンのお勧めのセット】

CAP16 鼻炎・喘息（項目コード2440）

- 季節性抗原（空中抗原増加時期）
スギ（2～4月）・ヒノキ（3～5月）・ハンノキ（1～5月）
カモガヤ（5～8月）・ブタクサ（8～10月）・ヨモギ（8～10月）
ガ（初夏・秋）・ユスリカ（初夏・秋）

- 通年性抗原
ハウスダスト1・ヤケヒョウヒダニ・ネコ皮膚・イヌ皮膚
ゴキブリ・カンジダ・アスペルギルス・アルテルナリア

検査項目 : CAP16 鼻炎・喘息
検体量 : 血清1.2mL
容器番号 : 1
保存方法 : 冷蔵
検査実施料 : 1430点
検査判断料 : 144点（免疫学的検査）
所要日数 : 3～5日
基準値 : 0.34UA/mL以下

2 学術研究発表：GBS選択分離培地の検討

2013年5月18日～19日に香川県高松市のかがわ国際会議場で行われました「第62回 日本医学検査学会」において弊社検査技師が発表を行いましたので紹介させていただきます。

【演題】
GBS選択分離培地の検討

【はじめに】
GBSは、妊婦の膣及び直腸に10%～30%保菌されており、保菌妊婦から出産時に垂直感染した場合には、新生児に敗血症や髄膜炎など重篤な経過をとることが知られており、妊婦のGBSスクリーニング検査は感染予防に重要である。
今回、我々はポアメディアGBS寒天培地及びポアメディアGBS半流動培地（栄研化学（株））と血液寒天培地との検出率の比較検討を行った。

詳しくは、下記URLをご参照下さい。
<http://www.keihin.gr.jp/image/kml-pdf/gbs.pdf>

3 自己免疫疾患について

1. 「自己免疫疾患」とは
自己免疫疾患は、本来は細菌やウイルスなどの自己と異なる異物を認識し排除するための役割を持つ免疫系が、自分自身の正常な細胞や組織に対してまで過剰に反応し、攻撃を加えてしまうことで症状をきたす疾患の総称です。
2. 「自己抗体」とは
自己抗体は自分自身の細胞や組織を抗原とする抗体のことです。自己免疫疾患により検出されやすい自己抗体があり診断に用います。
異なる疾患で同じ自己抗体が認められることもあり、また、自己抗体は必ず検出されるわけではなく、陰性であってもその疾患を否定する根拠にはなりません。
3. 自己免疫疾患の検査
臨床症状や身体所見から自己免疫疾患が疑われた場合、以下の検査フローを踏みます。
 - 1) 基本的検査
尿検査 血液検査（CBC, 凝固系） 生化学検査・蛋白分画
炎症反応（CRP, 赤沈） 免疫血清検査 X線検査（胸腹部, 関節）
 - 2) 確定診断に要する検査
免疫血清検査（疾患標識抗体） 臓器機能検査 画像検査
病理組織学検査
 - 3) 治療
 - 4) 疾患活動性・治療効果判定のための検査
 - 5) フォローアップ検査

【参考文献】
臨床検査のガイドラインJSLM 2009 日本臨床検査医学会 改変)

自己抗体の検査は確定診断に要する免疫血清検査（疾患標識抗体）のうちの一つです。

4. 自己抗体と疾患

疾患	自己抗体	関連症状・病態
全身性エリテマトーデス (SLE)	抗dsDNA抗体 抗Sm抗体	ループス腎炎(活動期) 中枢神経症状、遅発腎症
シェーグレン症候群	抗SS-B/La抗体 抗SS-A/Ro抗体	再発性環状紅斑 新生児ループス、SCLE
全身性硬化症(強皮症)	抗Scl-70抗体 抗セントロメア抗体	びまん型強皮症 限局型強皮症(CREST)
多発性筋炎・皮膚筋炎	抗Jo-1抗体	肺線維症合併筋炎
混合結合組織病(MCTD)	抗RNP抗体 (抗U1RNP抗体)	レイノー現象、手の膨張
血管炎症候群	抗好中球細胞質抗体 (PR3-ANCA) 抗好中球細胞質ミエロ ペルオキシダーゼ抗体 (MPO-ANCA)	Wegener肉芽腫症 特発性半月体形成性腎炎 顕微鏡的多発血管炎

【参考文献】
日本臨床増刊号 広範囲 血液・尿化学検査 免疫学的検査第7版3 改変)

4 KML インフォメーション 5月~7月分のお知らせ

前回メールニュースを配信しました後から現在までに発行された「KML インフォメーション」についてお知らせ致します。

各インフォメーションにつきましては、医院様へ随時お届けしておりますが、ご確認などに活用して頂ければ幸いです。

2013年 5月 27日 COOL BIZ (クールビズ) 実施のお知らせ
http://www.kml-net.co.jp/pdf/2013-0527_01.pdf

2013年 5月 27日 検査中止及び検査内容変更のお知らせ
http://www.kml-net.co.jp/pdf/2013-0527_02.pdf

2013年 7月 10日 検査内容変更のお知らせ
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2013-0710.pdf>



最後までお読み頂きまして有り難う御座いました。

編集/発行 <http://www.kml-net.co.jp/>
株式会社 京浜予防医学研究所
〒211-0042 神奈川県川崎市中原区下新城1-13-15